報告事項イ

「市立保育所の在り方及び市保育士の人材育成に係る方針」に基づく 平成30年度の進捗状況及び平成31年度の方向性

項目	目的	No.	平成30年度　進捗状況（予定含む） （■は平成30年度に新規・拡充）	平成31年度　取組の方向性 （●は平成31年度に新規・拡充）
（1）市保育士の質の向上	保育実践の改善 保育所の保育内容等の改善	1	■新自己評価の実践，公表 ・新自己評価（H29年度分）を実施し，7月に園内掲示 ・H30年度分は当該年度内に園内掲示予定	・公表時期は当該年度に1回実施
		2	■第三者評価の受審：神楽保育所 ・10/19第三者評価機関と締結　・11/20評価機関による職員説明　・12/20利用者調査書締め切り・12/26調査資料,自己評価提出　・1/23訪問調査　　・H30年度内結果報告,公表	・近文保育所において実施
	関係部局の業務の理解促進・連携強化 専門性の向上	3	○部内勉強会，研修会等の実施 職責や業務課題に応じた市保育士合同の研修や勉強会の実施 現場見学実習等の職員交流研修 ・愛育センターにおける市保育士の実習を実施11/6～12/13　4名 ・愛育センター課内研修 内容：① 虐待防止，各施設の支援内容，児童発達ガイドライン，医療的ケア，ヒヤリハット及び事故対策（4/3～4）・ ② 事例に基づき，すくらむ作成(子ども理解シート，個別支援計画)（8/9）・ ③家族造形法を用いた事例検討　講師 松田剛 臨床心理士（11/1） ・愛育センター職員交流研修（6～11月）	・研修内容について，課内で職員アンケート等を実施した結果を基に検討し，取組を継続。
	特定教育・保育施設等の実態把握 子ども・子育て支援新制度の理解	4	■指導監査時等に事故防止マニュアル等の見直しの手法やポイントを民間保育施設等に提案 ○事故防止マニュアルの内容確認等に係る所内勉強会の開催 ・見直した事故防止マニュアルをもとに事例を使った所内研修で職員（臨時職員も含む）に周知。 ・H29・30年度の事故事例，ヒヤリハット等を収集し，分析・改善・検証の実施。事故の傾向や保育士の対応の課題を整理予定。 ■H30年北海道胆振東部地震に係る対応状況等について，各保育施設等へ照会を実施。各保育施設等の状況を把握し，課題等について整理中。	●保育施設等の状況に応じた対応を指導監査時等に適宜実施。
		5	■児童保育要録の改定（12/10付け） ・育成会定例会（12月）において市内保育所，認定こども園等に周知 ・ホームページで様式，記載例等を公表	●保育施設等の状況に応じた対応を指導監査時等に適宜実施。
	認可外保育施設の実態把握 認可外保育施設への支援体制構築	6	○認可外保育施設の立入調査実施 こども育成課及び市立保育所の保育士2名で，立入調査を実施。ホームページで結果を公表 ・実施期間　11～12月末 ・対象施設　34施設	・対象施設　35施設予定

項目	目的	No.	平成30年度　進捗状況（予定含む） （■は平成30年度に新規・拡充）	平成31年度　取組の方向性 （●は平成31年度に新規・拡充）
（2）全市的な支援体制の構築	市内保育所・こども園に対する情報の発信・共有，保育内容の向上	7	○公開保育の実施 市内全保育施設を対象に，神楽保育所における保育の公開及び参加者との意見交換等を実施。 ・開催日：9/13 ・テーマ：「主体的に体を動かして遊ぶ子ども～保育士ができること」 参加者　市内保育施設関係者　53名	・新旭川保育所において実施
		8	○研修会の実施 ・開催日：2/14 ・対象：市内保育施設・関連機関等 ・内容：「主体的に取り組む子ども～保育士ができること」をテーマに 新旭川保育所と近文保育所の事例報告とグループワークを行う。	○研修会の実施 日時：2020年2月予定 対象：市内保育施設・関連機関等 内容：テーマ(未定) 神楽保育所と近文保育所の事例報告とグループワークを行う。
		9	○民間保育施設等との交流 旭川のびろ保育園（神楽），新富保育園，保育園げんき！（新旭川），みずほ通り保育園，さぽーとナビ保育園（近文）などとの交流保育事業を実施。 神楽：のびろ保育園との交流4～11月まで6回の交流保育，行事交流，保育士間の行事見学も実施。 新旭川：新富保育園と年長児同士の交流保育3回,行事の保育士間の見学も実施。小規模保育園げんき！と消防車の見学や園庭遊びを実施。 近文：各種行事の案内や情報交換を実施。 ・いずみこども園公開保育見学　6/29（3名） ・旭川ふたば幼稚園公開保育見学　7/11（9名） ・エール保育園公開保育見学　8/9（6名） ・教育大附属幼稚園公開保育見学　10/6(3名）	・取組継続 ●年中児からの交流の検討 ●市内小学校との交流の検討（教員と保育士との交流を含む。）
	被災地支援	10	■H30年北海道胆振東部地震に係る被災地域保育施設への支援 ・北海道保育協議会の要請を受け，厚真町の認定こども園に保育士2名を派遣（近文保育所1名・神楽保育所1名，9/19～21）	
	高等教育機関等との連携による保育内容の充実等	11	○市内の大学との連携（旭川短大，教育大） 高等教育機関等と連携し，専門家の意見を反映した取組を実践。 ・公開保育，研修会等に関する相談・助言 ・マニュアル整備，事例集まとめ，計画見直し等に関する相談・助言 ・運動遊びの実践指導 ・個別の子ども・保護者への対応に対する相談・助言　等	・取組継続
	市内未就園児に対する子育て支援	12	○園開放の実施（週1回） 子ども総合相談センターや愛育センターとの連携を図りながら，支援が必要な子も含め，集団生活経験の機会を提供。 参加人数：3保育所　計191名(うち特支，親子教室等76名　40%）　11月末までの実績	・取組継続

項目	目的	No.	平成30年度　進捗状況（予定含む） （■は平成30年度に新規・拡充）	平成31年度　取組の方向性 （●は平成31年度に新規・拡充）
（2）全市的な支援体制の構築	相談支援体制の充実	13	■子ども総合相談センターとの連携による子育て支援の在り方を検討 ・「産後のお母さんのための健康講座」におけるふれあい遊びの紹介と相談講師として対応 対象：産後2か月から9か月までの初産の母子 8/30（参加　10名）　10/25(参加　8名） ■<u>要支援児を早期療育につなげるための方法等の検討</u> ・市立3保育所において，市保育士による保育観察等を試行 ■市民向けペアレントトレーニング講座，関係者向けペアレントトレーニング研修（子ども総合相談センター主催）において，補助者（サポート）として参加。 ・市民向け講座（3回講座×2回） ①6/7，6/21，7/5 （参加　6名）　①フォロー講座　9/13 （参加　2名） ②9/13，9/27，10/1 （参加　5名）　②フォロー講座　12/13 （参加　2名） ・市民向け紹介講座（2回）　①8/27 （参加　7名）　<u>②2/12予定</u> ・関係者（保育施設，小学校，障害児通所支援事業所）向け研修 ①7/18 （参加　24名）　②8/8 （参加　14名）	・産後のお母さんのための健康講座の取組継続 ・未就園児の親子への遊びの講座を検討 ●特別支援教育・保育の有識者からアドバイスを受けながら，早期療育につなげる仕組みづくりを行う。 ・取組継続
（3）行政資源の効果的な活用	特別支援保育ニーズへの対応	14	■<u>特別支援事例集の公表</u> ・高等教育機関からのアドバイスを受けながらまとめた事例集を公表 ・民間保育施設等からの問合せへの対応方法について検討中	●特別支援の取組事例を継続してまとめ，単年度分を更新
		15	○特別支援にかかる学習会開催 特別支援にかかる就学への理解を深めるため，保育士等を対象とした学習会を開催。テーマ「就学相談の現状と小・中学校の特別支援教育」 ・8/22　43名出席 ・参加者　認可保育所及び認定こども園・幼稚園の保育士等 ・講師　旭川市教育委員会教育指導課　白石氏　学務課　及川氏	・取組継続
	医療的ケア児童ニーズへの対応	16	■医療的ケア児童の受入れ ・入所受け入れに必要な人員の配置→看護師配置 ・所内研修としての勉強会を実施 ・医療的ケア支援事業の研修を4/11・27　2回同じ内容で全保育士が受講（臨時職員・パート保育士含む） ・受入れマニュアル等の作成と実施及び記録振り返り・他機関との連携 ・わかくさ学園訪問支援の活用 ・小児慢性特定疾病相談室との連携 ・研修に参加し理解を深める。「医療的ケアが必要なこどもと家族のために」（10/7），「小児健康フォーラムみんなで考えよう医療的ケア児の現状と課題」（10/28）	・取組継続
	市内の保育施設等の給食の充実	17	■見直した食育計画に基づく保育の実施	・継続実施

項目	目的	No.	平成30年度　進捗状況（予定含む） （■は平成30年度に新規・拡充）	平成31年度　取組の方向性 （●は平成31年度に新規・拡充）
（3）行政資源の効果的な活用	保育士不足解消・新たな保育の担い手の発掘	18	○保育士再就職支援研修の実施 3保育所における現場実習，座学講師の対応 ・第1期（7/23座学 24・25実習）　参加6名 ・第2期（11/19座学 20・21実習）参加2名 ・第3期（2/18座学 19・20実習）	・取組継続
		19	○子育て支援員研修への対応 3保育所における現場実習の対応 ・第1期（①6/28・29　②7/5・6）　①参加17名②参加15名 ・第2期（1/29・30，2/5・6）予定	・取組継続
	市立保育所の現状把握	20	○次期旭川市子ども・子育てプラン（H32～）策定に向け，新旭川保育所，近文保育所の今後の方向性を整理中 ■行政評価の実施 ・1次評価 ～ 自己評価 ・外部評価 ～ 行財政改革推進委員会（附属機関）におけるヒアリング ・2次評価（最終評価） ～ 行政評価検討会議（庁内会議）による評価	●次期プラン策定に係るニーズ調査や行政評価の結果，今後のサービスの利用状況などを踏まえながら，今後の方向性を整理。